

7月21日山口県では梅雨明けが発表され、夏本番の中、九州はもとより、広島、山口の各地から33名も参加していただき、初の山口県開催で、初の「体づくり運動アプリ」を活用した模擬授業を中心として、体育についての様々な議論が展開されました。

#### 1 トピックス：「体づくり運動アプリを活用した模擬授業」

佐藤代表が開発中の「体づくり運動アプリ」を2人に1台のタブレットを用いて実践してみました。



山口県内から15人の現場の先生の参加ということもあり、まずは、改めて全国的な子どもの体力の状況とその対策等を確認しました。佐藤先生から、「体力って、なあに？」と問われて「ドキッ」としてしまった参加者も数多く、その後の佐藤代表からの説明に、ガッテンボタンを押すが如く、みなさん首を縦に振って納得していました。

模擬授業では、アプリの中に基礎的な運動映像が100本以上紹介されていて、その豊富さに参加者も「ビックリ！満足！」の様子で、自らバランスのよい運動の計画を立てて、映像を見ながら実践できるメリットを体験していました。



体づくり運動に関する質問として、参加者から、小学生には、体力の必要性を実感する機会をつくるのが難しい。また、「てきた」という満足感・達成感を味わわせることが十分でないため、なかなか運動習慣に結び付いていない。などの質問がでました。

佐藤代表からは、食物の栄養素を例にして、分かりやすく子どもにどう伝えるのか、また、運動には必要充足と欲求充足があり、学年が上がるにつれて、「理屈で理解させて意欲を高めることも大切」と御指導いただきました。



#### 2 研究協議Ⅱ「ここが知りたい 体育授業 質問コーナー」

このコーナーでは、事前にまとめられていた質問事項(4点)について、グループで深め、意見交換したのち、佐藤代表から各質問について、可能な限り解説をしていただきました。



- Q① 指導内容の系統性と明確化が改訂のポイントですが、個人差がある集団で右肩上がりに内容を定着させることの難しさを感じますが、どう理解すればよいでしょうか。
- Q② 次期指導要領改訂に新たな内容(種目等)が入ることが考えられますか。
- Q③ 学習指導要領実施状況調査が行われました。成果は上がっているのでしょうか。
- Q④ 2020年の東京オリンピックに向けて、競技スポーツは盛り上がることは必然ですが、学校体育は置き去りにならないか心配ですが、どうでしょうか。

※ 紙面の都合上、解説については、今後のラウンドで、佐藤代表ご本人からお聞きください。

#### 3 その他

今回は、アプリを活用した模擬授業ということで、佐藤代表にすべてお任せしてしまいました。また、広島県の清田さんには、資料やタブレットの事前準備のお手伝いをしていただき、初の「山口ラウンド」を充実した内容にすることができました。このたびのラウンドを足がかりとして、山口県の体育・保健体育が盛り上がっていくよう頑張っていきます！関係者の皆様、本当にありがとうございました。(記録：田山)